

令和6年度事業報告概要

羽曳野市社会福祉協議会は、昭和40年に社会福祉法人の認可を受けて、設立60年を迎えました。様々な社会の変遷とともに歴史を積み重ね、羽曳野市や各種団体の皆様と連携して市民の福祉向上の一翼を担ってまいりました。

近年は、家族や地域社会の在り方が多様に変化したことで、少子・高齢化とともに地域においては孤立やひきこもり、日常生活への支援が行き届かないために深刻な生活問題・困窮といった課題のある方々の存在が顕在化するようになりました。

このような複雑化した支援ニーズに対応する体制構築のため、**地域福祉活動**では羽曳野市から委託を受け「**重層的支援体制整備事業移行準備事業**」に取り組みました。重層コーディネーターを配置し、地域内の多機関と連携しながら「属性を問わない相談支援」を目指し、相談者に寄り添い、地域住民の複合化したニーズに対応した支援を行いました。また、相談者と地域社会とのつながりをつくるための「参加支援」の場や居場所を整備する「地域づくりに向けた支援」に取り組みました。

同じく同年に受託した「**家計改善支援事業**」においては、利用者の家計状況の根本的な課題を把握し、状況に応じた支援計画の作成、相談支援を行いました。

高齢者見守りサポート事業は、令和6年度から開始した補助事業として、地域の福祉の向上を目的に、引きこもりの防止とフレイルや認知症の予防など健康の維持・増進を図るため、高齢者の「見守り活動」や「居場所づくり」を行なう事業です。14小学校区の民生委員児童委員協議会に、「茶話会」「戸別訪問」など各校区の実情に合わせて創意工夫された事業に取り組んでいただきました。

羽曳野市とともに、一体的に推進している令和3年度を初年度とする「第4期羽曳野市地域福祉計画」と「第4期羽曳野市地域福祉活動計画」は、市と本会がそれぞれの役割を持ち、積極的に協力しながら地域福祉ネットワークの充実をさらに進めました。

コロナ特例貸付フォローアップ支援事業は新たな生活困窮に陥らないよう、借受人へのフォローアップ支援を行い、特に連絡がつかない方々へは個別訪問も開始し、償還に関する柔軟な対応や付随する生活相談について、市民に寄り添いきめ細かくサポートを実施いたしました。

個別支援活動では、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の行う総合福祉相談や生活困窮者自立支援相談をはじめ、本会の保育園で行っているスマイルサポーター事業により、相談者が抱える個別の課題解決に向けて支援しました。

在宅福祉活動では、訪問介護事業、居宅介護支援事業において、サービス利用者の方々に安心して利用していただけるように徹底した感染予防対策を行い、「そこに大切なあなたがいる」の理念のもと、利用者やご家族に寄り添った介護事業を行いました。

募金活動等の推進では、令和6年に発生した能登半島地震・大雨、大船渡市林野火災の災害時義援金活動や海外救援金活動、例年継続して行っております日本赤十字社の活動資金、共同募金、歳末たすけあい運動募金や献血推進事業にも取り組み、多くの皆さまからご支援・ご協力をいただく事が出来ました。

保育園事業では「あおぞら保育園」「ベビーハウス社協」の2カ所の認可保育園を、安全で安心な保育園として運営し、地域の子育て支援の拠点として、育児相談、園庭開放、緊急一時保育（ベビーハウス社協のみ）などを実施し、地域の皆様から信頼され、親しまれる保育園運営を行いました。

あおぞら保育園は令和7年4月1日より「**幼保連携型認定こども園あおぞらこども園**」に移行し教育・保育について多様化する社会ニーズに対応し、地域において小学校就学前までの子どもに対する教育・保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進します。

当会の自主事業の貴重な活動財源となります「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」は、多くの皆様からのあたたかいご理解とご協力をいただきました。さらに今年度におきましては、正職員を雇用して組織体制の充実強化を行い、前年度に引き続き安定的な組織運営と基盤の強化を図る事が出来ました。

以上のとおり各種受託事業をはじめ、自主事業においても、健全な運営を行う事が出来ました。

次に、事業ごとの取り組み内容は別紙のとおりです。

令和6年度事業報告

■ 役員会議

・理事会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和6年6月7日	羽曳野市役所 別館2階研修室	令和5年度事業報告について 令和5年度収支決算について 定款の一部変更(案)について 理事候補者の選任(案)について	14人
令和6年6月24日	保健センター 4階大会議室	副会長の選出について	12人
令和7年2月20日	保健センター 4階大会議室	令和7年度事業計画及び予算(案)について 理事候補者の選任(案)について 役員等賠償責任保険契約の内容(案)について あおぞらこども園園長の選任(案)について	10人

・評議員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和6年6月24日	保健センター 4階大会議室	令和5年度事業報告について 令和5年度収支決算について 定款の一部変更(案)について 理事の選任(案)について	22人
令和7年3月5日	羽曳野市役所 別館2階研修室	令和7年度事業計画及び予算(案)について 理事の選任(案)について	22人

・監事監査

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和6年5月23・24日	ベビーハウス社協	令和5年度監査	2人

・評議員選任・解任委員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和6年6月 (2回開催)	書面開催	評議員の選任(案)について	5人
令和6年7月	書面開催	評議員の選任(案)について	5人
令和7年2月	書面開催	評議員の選任(案)について	5人

■ 社会福祉協議会設立 60 周年記念式典・あおぞらこども園開園式

昭和 40 年に社会福祉法人の認可を受け法人化 60 年を迎え記念式典を開催しました。また、令和 7 年 4 月 1 日から、あおぞら保育園を「幼保連携型認定こども園あおぞらこども園」に移行するにあたり開園式を開催しました。

日 時 令和 7 年 3 月 22 日（土）10 時～

場 所 羽曳野市役所 別館 3 階会議室

■ 組織強化

自主財源となる福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金（令和 7 年 3 月 31 日現在）

令和 6 年度 1, 6 3 8, 4 9 9 円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

3, 8 1 1, 1 4 7 円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

2 6 3, 0 0 0 円

■ 社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名 称	発行回数	発 行 月 等	備 考
社協だより	年 4 回発行	5 月・8 月・1 0 月・1 月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年 4 回発行	6 月・9 月・1 2 月・3 月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年 1 2 回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	———	随時更新	http://www.hasyakyo.net/
介護保険事業連だより	年 1 回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会 ・施設部会 ・地域活動部会 ・在宅部会 ・地域密着部会

■ 地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内 容	場 所
令和6年6月14日（金）	校区福祉委員会連絡会 小地域ネットワーク活動の説明	市役所別館3階会議室
令和6年11月13日（水）	校区福祉委員会連絡会 「私の校区の“推し”活動」PART II	保健センター4階会議室

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。

地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動の地域福祉推進に繋げました。

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ地域福祉の増進に寄与しました。

校区名		各事業の実施箇所数 (単位：箇所)						小地域 ネットワーク ※3	雅び ※4
		いきいきサロ (喫茶サロン含む)	ふれあい食事 サービス	地域リハビリ 事業 (百歳体操含む)	世代間 交流	子育て支援 こどもの居場所 (サロン) 活動 ※1	その他 ※2		
1	古 市	7	2	5	7	2	3	H11	H15
2	高 鷲 北	2	2	0	0	2	2	H11	H14
3	埴 生	4	7	1 1	4	2	1	H13	H16
4	埴 生 南	6	7	1 0	2	3	2	H12	H16
5	羽曳が丘	2	0	3	3	1	2	H10	H14
6	丹 比	1	1	0	2	1	2	H11	H16
7	駒ヶ谷	6	6	3	1	2	4	H14	H17
8	古市南	1	1	2	1	1	2	H14	H15
9	西 浦	9	7	5	2	1	2	H13	H18
10	西 浦 東	2	1	4	1	1	0	H12	H24
11	恵我之荘	3	2	2	4	1	0	H12	H14
12	白 鳥	2	1	3	2	1	4	H12	H15
13	高 鷲	1	6	2	1	1	0	H10	H14
14	高 鷲 南	6	1	5	1	1	1	H10	H14
合 計		5 2	4 4	5 5	3 1	2 0	2 5	2 2 7	

※1 古市校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※2 その他

各分類以外のもので、清掃活動や夜警、緑化活動などが入ります。

※3 小地域ネットワーク事業

小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動（設置年度）

※4 ふれあいネット雅び

小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティーネットの確立を目指す活動（設置年度）

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図っています。

日付	学校名・学年	派遣団体	内容
令和6年9月19日	羽曳が丘小学校	点訳サークルひまわり	点字を活用した名刺づくり
令和7年2月6日	羽曳が丘小学校	介護保険事業者連絡協議会	はじめての車いす体験

・重層的支援体制整備事業移行準備事業

年齢や障害、貧困などに関係なく、すべての人が地域で支え合い、共に生きる社会を目指す地域共生社会を実現するために、重層的支援体制整備事業実施へ向けて令和6年度は重層的支援体制整備事業移行準備事業を実施しました。

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていきます。

(1) 会議の開催

① 担当者会議

関係機関から提出された相談ケースの内容を精査し、多機関協働事業（重層的支援会議・支援会議）として対応を検討するための会議等を開催した。

② 支援会議

本人の同意がない場合でも、会議の構成員に対する守秘義務を設け、関係機関がそれぞれ把握しているものの、支援が届かない個々の事案の情報を共有し、支援の方向性を協議し、役割分担を明確化する。また、地域における必要な支援体制の検討を円滑に進めるための会議を開催した。今年度については、要保護児童対策協議会における支援会議と生活困窮者自立支援事業支援会議として開催した。

(2) 重層的支援体制整備事業移行準備事業多機関協働事業における重層コーディネーター対応件数

内 容	件 数 (回数)
相談（延べ）	19 (回)
相談（実人数）	7 (人)
担当者会議	17 (回)
受付申込	3 (人)
支援会議	4 (回)

(3) 多機関協働事業における連携強化を図るため各専門機関への啓発活動と連携

【連携会議】

- ・重層実務者調整会議 ・ ブランチ会議 ・ CSW 連絡会 ・ 福祉施設連絡会
- ・要保護児童対策協議会 ・ 校区福祉委員会連絡会 ・ ふれあいネット雅び運営会議

【連携機関】

- ・生活福祉課 ・ 障害福祉課 ・ 地域包括支援課 ・ こども家庭支援課
- ・健康増進課
- ・中・西圏地域包括支援センター
- ・生活困窮者自立相談支援機関
- ・学校教育課 ・ 中学校 ・ 府立高校 ・ スクールソーシャルワーカー
- ・高齢・障害等事業所 ・ 医療機関 ・ 大阪府ひきこもり地域支援センター
- ・大阪府下市町村社会福祉協議会
- ・民生委員児童委員 ・ 校区福祉委員会 ・ ボランティア団体

【会議等への参加】 31回

(4) 重層的支援体制整備事業実施に向けた研修会開催

『～ふれあいネット雅びからつながる支援の輪～』

日時・場所：令和6年10月24日（木）はびきのコロセアム サブアリーナ

内 容：①ふれあいネット雅び概要説明

②講演名『ふれあいネット雅びと重層的支援体制整備事業』

ふくしと教育の実践研究所主宰新崎国広氏

③コラボレーションから生まれる多様な活動紹介（動画）

④音楽ボランティアによる演奏

⑤地域活動の報告

参 加 者：175名

・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という2本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動に活かし、また地域支援活動が個別支援活動に活かされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

令和6年度からは、西エリアのCSWが1名増員され、中エリア1名・西エリア2名・東エリア2名、計5名のCSWを配置されました。社会福祉協議会では、西エリアに1名・東エリアに2名、計3名を配置し、地域に密着した相談支援を実施しました。

◎CSW介入の必要性

- ・制度の利用は可能であるが、本人が支援を拒否される場合、ゆるやかな見守り体制を構築していく必要のある事例。
- ・家族の中で複合的な課題を抱えている場合、障害・高齢・児童それぞれの制度につないでいく必要のある事例。
- ・民生児童委員が地域で発見し把握された相談の中で、専門職支援が必要のある事例。
- ・なんらかの理由で家から外出することができなくなった「ひきこもり」と呼ばれる方々が、社会参加するための支援。

◎CSW介入の成果

- ・複合的な生活課題を抱えられている方からの相談をワンストップで受け、関係機関につなげ、スムーズな支援につなげることができる。

◎最近多くなっている相談

- ・「家族の問題」としてずっと潜在化しており、問題が顕在化した時には、生活が立ち行かなくなってしまう事例（５０代ひきこもりの子・８０代高齢親）
- ・養育困難、ゴミ屋敷等、犬・猫・イタチ等の小動物の問題
- ・子育て不安、介護負担など「ちょっとした相談」をする人がいなくて、抱え込んでいる事例
- ・地域の１００歳体操やカフェなどの行き場所がないという高齢者からの相談、ご近所トラブルなど

① 地域支援活動

(単位:回)

	東部(古 市南・西 浦東・駒 ヶ谷)	東部(古 市・白 鳥・西 浦)	西部(高 鷲・恵我 之荘)	合計
<u>第４期羽曳野市地域福祉計画の推進、第４期地域福祉活動計画の策定 他機関との協働</u> 第４期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、羽曳野 市地域福祉ネットワーク交流会、教育福祉連絡会、羽曳野市地域自立支 援推進会議、要保護児童対策協議会、市ＣＳＷ連絡会、福祉施設連絡会、 中河内・南河内ＣＳＷブロック会議、重層的支援体制整備事業関係会議、 エリア・ブランチ会議、大阪しあわせネットワーク・スマイルサポータ ー連絡会・ひきこもり支援連絡会・校長会・街歩きイベント・就労準備 事業・サポステ・南河内プラッツ・生活困窮地域ネットワーク会議・地 域福祉コーディネータースキルアップ研修・ＳＳＷ連絡会・キャラバン メイト等各連絡会・あさがお教室・勉強会・IBU 特別講義、介護予防強 化推進事業戦略会議、発達障害者地域支援力向上会議	45	55	56	156
<u>住民懇談会の開催</u> 校区懇談会・子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進 チーム会議・小地域ネットワーク会議・校区福祉委員会連絡会	15	16	12	43
<u>要援護者の組織化支援</u> 介護者家族の会・高次脳機能障がい当事者の会、家族の会の取組み支援 社協WEST（就労準備・ひきこもり支援）・EAST 企画会議	2	2	14	18
<u>地域住民などを対象とする研修会の開催</u> ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会認知症サポーター養成 講座等、ふれあいネット雅びからつながる支援の輪、高鷲健康講座、高 鷲・高鷲南校区福祉委員会合同研修会、高鷲南校区防災講演会	1	1	5	7
<u>災害時要援護者支援ネットワーク構築事業</u> 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	4	1	2	7
<u>地域拠点へのアウトリーチ（出張相談）</u> ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」、各ふれあ いまつり、コミュニティひろば、軽里食事会・軽里茶話会、喫茶なごみ、 翠鳥園北ほっとタイム、翠鳥園北輪投げ、西浦いきいきサロン、カフェ さんさん、喫茶ひだまり、１００歳体操、ふるなん輪投げ教室、駒ヶ谷 サロン、壺井町会サロン、大黒いきいきサロン、飛鳥サロン、喫茶サロ ン「いしかわ」等への訪問相談・移動販売車停留所での相談受付、民生 委員定例会、校区福祉委員会会議、健康教室、子育てサロン、フードパ ントリー、区長会、子ども食堂、古市府営すこやか会、高齢者見守りサ ポート事業、ほのぼのクラブ、西向野クールオアシス、高鷲ふれあいフ ェスティバル、恵我之荘もちつき大会、ミートプラザ高鷲アンケート、 恵我之荘ぜんざい祭り、JA 高鷲朝市	69	51	44	164

① 個別支援活動

(単位：件)

相談内容別	東部(古市南・西浦東・駒ヶ谷)	東部(古市・白鳥・西浦)	西部(高鷲・恵我之荘)	合計
	件数	件数	件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	110	57	91	258
生活に関する身近な相談	89	61	70	220
健康・医療に関する相談	38	54	31	123
生活費に関する相談	30	14	12	56
就労に関する相談	14	4	3	21
多重債務に関する相談	6	1	0	7
消費者被害に関する相談	0	0	0	0
財産管理・権利擁護に関する相談	0	5	3	8
住宅に関する相談	17	8	6	31
子育て世帯に関する相談	7	2	8	17
DV・虐待に関する相談	0	5	1	6
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	23	9	22	54
災害時要援護者に関する相談	34	4	14	52
ひきこもり	18	9	7	34
フードバンク	4	0	1	5
その他	22	0	7	29
合 計	360	233	276	869

(単位：件)

相談対象者別	東部(古市南・西浦東・駒ヶ谷)	東部(古市・白鳥・西浦)	西部(高鷲・恵我之荘)	合 計
	件数	件数	件数	件数
高齢者	64	39	45	148
障がい者	13	7	32	52
子育て中の親子	11	6	5	4
一人親家庭の親子	1	2	1	4
青少年	0	0	0	0
DV被害者	4	1	1	6
生活困窮者	4	4	6	14
ひきこもり	11	5	6	22
ボランティア	0	0	3	3
ヤングケアラー	0	0	0	0
外国籍	1	1	0	2
その他(一般)	52	47	17	116
合 計	161	112	116	389

※一度に複数の相談事項があるため、合計とは一致しません。

・高齢者見守りサポート事業

小学校区ごとの民生委員児童委員協議会が主催し、校区内の高齢者を対象にした「見守り活動」や「居場所づくり」を行うことにより、外出の機会を増やし、ひきこもりの防止とフレイルや認知症の予防など健康の維持・増進に寄与することを目的とした事業を令和6年度より開始しました。校区ごとの特色により、“茶話会”“配食”“弁当持ち帰り”“会食会”“個別訪問”などの様々な形態で実施しています。

校 区	事業形態	回数	参加人数
古市	茶話会	8	479
古市南	茶話会	3	184
白鳥	茶話会・友愛訪問	4	323
駒ヶ谷	配食	3	154
西浦	配食	3	186
西浦東	弁当持ち帰り	3	160
埴生	弁当持ち帰り	3	242
埴生南	弁当持ち帰り・個別訪問	2	377
羽曳が丘	弁当持ち帰り・個別訪問	3	1,254
丹比	弁当持ち帰り	2	152
高鷲	弁当持ち帰り	3	142
高鷲北	会食会	4	158
高鷲南	弁当持ち帰り	3	160
恵我之荘	弁当持ち帰り	3	147

計 47 回開催 延べ参加人数 4,118 人

※個別訪問活動を開始された校区があるため、延べ参加人数が増加しています。

・避難行動要支援者支援ネットワーク構築事業

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、校区福祉委員会や町会・民生委員児童委員など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようという制度です。平常時から地域の見守り、支えあいの輪がいつそう広がりました。

避難行動要支援者

- ①身体障がい者手帳（１級、２級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
- ②療育手帳（療育Ａ）の交付を受けている方
- ③精神障がい者保健福祉手帳（１級）の交付を受けている方
- ④障がい者手帳をお持ちで一人暮らしの方
- ⑤要介護度３以上の方
- ⑥６５歳以上のお一人暮らし、７５才以上のみの世帯
- ⑦昼間のみ⑥の状態になる方
- ⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
- ⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（同意あり）

（単位：人）

古 市	高鷲北	埴 生	埴生南	羽曳が丘	丹 比	駒ヶ谷	古市南
338	157	295	376	354	365	75	403

西 浦	西浦東	恵我之荘	白 鳥	高 鷲	高鷲南	合 計
242	116	175	134	289	299	3,618

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が全校区で行われています。

核家族化による孤立予防や、子育ての不安や悩みを一人で抱え込まないよう、子育て世代をサポートすることを目的として各校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会で、それぞれ独自のふれあいの場を提供しています。

校区ごとの参加人数は下記のとおり。

(単位：人)

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
150	234	238	72	132	193	104	78

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんぴ	こまがたに	合 計
171	99	200	178	27	57	1,933

■ 生活支援活動

・生活困窮者自立支援事業

だれもが生活困窮に陥るかもしれない恐れがある社会の中、生活困窮のさまざまな原因に対し、専門の支援員が相談に応じ支援計画を策定し、その方にあった自立に向けて支援を行います。

(単位：件)

相談受付	件数
新規相談受付件数（本人同意なしを含む）	264
新規相談申込件数（本人同意ありのみ）	137
支援決定・作成プラン件数(再プランを含む)	36

相談内容別	件数
病気や健康、障害のこと	50
住まいについて	22
収入・生活費のこと	106
家賃やローンの支払いのこと	52
税金や公共料金の支払いについて	25
債務について	46
仕事探し、就職について	40
仕事上の不安やトラブル	11
地域との関係について	2
家族関係・人間関係	18
子育てのこと	12
介護のこと	7
ひきこもり・不登校	4

DV・虐待	2
食べるものがない	9
その他	12

※一度に複数の相談事項があるため、受付件数等とは一致しません。

住居確保給付金申請内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
離職	1	1				1	1					1	5
減収													
合計	1	1				1	1					1	5

・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

大阪府社会福祉協議会権利擁護推進室からの委託事業で、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより毎日の暮らしに必要なことの判断や意思表示を自分自身で適切に行うのが困難な方を対象に、生活支援や金銭管理などをお手伝いする事業です。令和5年度は新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら対面のやり取りを続けました。

相談者	一般相談 件数	サービス提供の ための活動件数	新規契約 件数	解約件数	年度末 実利用者数
認知症高齢者	165件	307件	5件	1件	9人
知的障がい者	125件	401件	1件	0件	14人
精神障がい者	607件	1,784件	2件	4件	26人
その他	17件	0件	0件	0件	0人
合計	914件	2,492件	8件	5件	49人

専門員・生活支援員参加の研修会等

大阪府社会福祉協議会主催の各種会議・研修会に参加

・生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活の安定ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

【貸付状況】

区分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	48件	86件	36件	3,627千円
教育支援資金	34件	46件	25件	18,339千円
総合支援資金	4件	2件	0件	0千円
不動産担保型生活資金 (要保護含む)	1件	6件	0件	0千円
緊急小口資金	25件	44件	12件	1,117千円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件	0円

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数 308日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	全社協送迎	合計
団体数	100件	258件	4件	2件	364件
人数	1,458人	21,174人	15人	774人	26,421人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

(単位：件)

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
55	31	21	10	19	136

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しています。

講座名	日程・場所	内 容
ボランティア・市民活動 わくわく講座 折り紙ボランティア養成講座	令和6年5月22日・5月28日・6月5日 エコプラザはこふ・市役所 A棟西会議室・高年生 きがいのサロン3号館	自分の特技を活かして福祉ボランティアができることを知ってもらい、ボランティア活動の啓発を目的として実施した。折り紙ボランティアは男女問わず誰でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい実施した。
精神保健福祉ボランティア 養成講座	令和6年6月6日・6月13日・6月20日・6月27日 市役所別館2階研修室・ 丹比荘病院	こころの病を持つ方が増加傾向にある現代、すべての人が安心して暮らせる地域を一緒に作るために、精神障害について正しい知識を得ることで偏見や差別をなくすことを目的に開催した。
ボランティア・市民活動 わくわく講座 絵手紙ボランティア養成講座	令和6年6月7日・6月14日・6月19日 市役所別館2階研修室・ エコプラザはこふ・古市 ひまわり園	絵手紙の制作を通したボランティア活動の啓発を目的として実施した。絵手紙ボランティアは男女問わず誰でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい実施した。

ボランティア体験プログラム	令和6年7月1日～9月30日 あおぞら保育園・デイサービスエンジョイ・あそか西松庵・小規模多機能型居宅介護びよーら西松庵・花あかり・羽曳野市社会福祉協議会ボランティアセンター・羽曳野市高年生きがいサロン3号館・特別養護老人ホーム	大阪府社会福祉協議会との共催事業として毎年開催されているプログラム。子どもから社会人、高齢者などにボランティア活動参加の機会を提供している。特にボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする機会となっており、ボランティア団体や施設などに受入れを依頼し、実施した。
音訳ボランティア養成講座	令和6年7月10日・7月24日・8月7日・8月28日・9月11日・9月18日・9月25日 市役所A棟東会議室・市役所A棟西会議室・市役所別館3階会議室	読むことに不自由を感じている方に声による情報を届けるボランティア活動の啓発を目的とする。また、一緒に活動するボランティアを養成するために開催した。
小学生ボランティアスクール	令和6年7月30日 別館2階研修室	小学生ひとりひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育て、ボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催した。
傾聴ボランティア養成講座	令和6年8月1日・8月2日・8月20日 市役所別館2階研修室 グループホーム みやび	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止める傾聴ボランティアを養成するために開催した。
ボランティア・市民活動 わくわく講座 歌声ボランティア養成講座	令和6年9月26日・10月3日・10月9日 エコプラザはにふ・アンジュー	昔の歌を歌い利用者に寄り添うことを通したボランティア活動者を増やす目的で実施。男女問わず歌うことが好きな人は誰でも参加できる内容になっており、男性の活動参加もねらい実施した。
災害ボランティア養成講座	令和7年2月23日 別館2階研修室	災害ボランティアの基本について学びを深め、災害ボランティアセンター運営シミュレーションを行った。羽曳野市で災害が起きた際に活躍していただける災害ボランティアの育成を目的に実施した。
朗読ボランティア 河南ブロック代表者会議	令和7年3月6日 柏原市社協	各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、例年幹事市へ出向いて録音技術や朗読スキルアップ、会員募集、リスナーの拡大などテーマを決めて、現状報告・情報交換などの交流を行った。

・ボランティア連絡会の育成・支援

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

ボランティア連絡会総会	令和6年5月31日 市役所別館3階会議室
定例幹事会	毎月第2水曜日
その他主な活動 大阪府市町村社協ボランティア連絡会総会 大阪府市町村ボランティア連絡会テーマ別研修会 河南ブロック交流会 大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議 大阪府市町村ボランティア研修交流会 市民体育祭 市民会館夏祭りブース出展 小学生ボランティアスクール 会員研修 市民マラソン大会 市民活動フェスタ2024 第1回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会 第2回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会 第3回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会 第4回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会 第5回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会	令和6年5月17日 大阪府社会福祉会館 令和6年12月23日 大阪府社会福祉会館 令和6年10月9日 藤井寺市立市民総合会館 令和6年2月14日 大阪府社会福祉会館 令和7年2月14日 大阪府社会福祉会館 令和6年6月9日 悪天候のため中止 令和6年7月21日 羽曳野市市民会館 令和6年7月30日 羽曳野市役所別館2階 令和6年10月31日 神戸市人と防災未来センター他 令和6年12月8日 石川スポーツ公園 令和6年3月17日 エコプラザはこふ 令和6年5月17日 大阪府社会福祉会館 令和6年7月24日 大阪社会福祉指導センター 令和6年9月20日 大阪社会福祉指導センター 令和6年11月18日 大阪社会福祉指導センター 令和7年1月27日 大阪社会福祉指導センター

・災害ボランティアセンター事業

地域住民の災害ボランティアに対する意識を高めるために災害ボランティア養成講座や情報交換会を企画し、災害ボランティアへの参画を促しています。

昨年度に引き続き、災害ボランティアセンター設置時に使用する備品を整備しました。

災害ボランティアセンター設置時に協力できる体制作りに向けて、羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」と連携し、講座を実施しました。

令和6年6月20日～21日、河南ブロック社協と協力しボランティアワゴンを実施。職員3名を石川県七尾市へ災害ボランティアとして派遣しました。

羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」勉強会（定例会）	毎月第4金曜日	災害ボランティアセンターが設置される際に社協とともに運営に携わるための知識や技術を得るために設立された「ブランバード」の定例会に参加し、平時から情報交換やブランバードとの共催で災害ボランティアに関する講座を企画・実施した。
3市合同災害ボランティア担当者会議・連絡会議	令和6年 5月10日 7月11日 8月5日 9月6日 10月4日 11月8日 令和7年 1月10日 2月7日	柏原市・羽曳野市・藤井寺市の3社協共同で災害ボランティアセンターについての情報交換を行い、災害ボランティアセンターの運営体験プログラムの企画について話し合った。令和6年度は柏原市が幹事市となり議事進行や意見のとりまとめを行った。
3市合同災害ボランティア養成講座	令和6年 10月29日	柏原市立健康福祉センターオアシスで3市合同災害ボランティア養成講座を実施した。近年の動向についての説明や被災地への派遣活動報告の後、柏原市災害ボランティアグループによる防災教室が行われた。3市で登録しているボランティアグループ参加により実施した。
三市合同総合防災フェア	令和6年 11月10日	3市合同で災害に関するブース（災害ボランティアセンターの啓発・災害簡易グッズの作成体験コーナー）を出展し、災害ボランティアに関する情報を発信した。
災害ボランティアコーディネーター研修会	令和7年 2月12日	「災害ボランティアコーディネーターの役割と災害支援に必要な視点」をテーマとして災害時、被災者に寄り添いながら支援できる人材の育成と社会福祉協議会の災害支援体制の構築、充実を目指して大阪府社協主催により開催されている研修会に参加した。
大阪府災害ボランティアセンター運営シミュレーション	令和7年 2月5日	大阪府内のブロックごとに、ZOOMを使用して会場をつなぎ、ICTを使用しての被災状況把握や支援の見積もりの作成や確認を行った。

・きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成27年7月1日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

○きらプロ講習会内容

活動の開始前に講習会を開催

きらきらシニアプロジェクト はじめて講座 (場所：市役所別館2階研修室)	6回開催 計37人参加	令和6年5月30日・7月25日・9月13日・ 10月11日・11月12日・令和7年1月28日
--	----------------	---

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

○サポーター（ボランティア）登録者数 406人

○市が指定した市内の介護保険施設などにおける介護支援サポーター活動を対象としている。

介護支援サポーター活動の再開を目的にサポーター受入登録施設の受入状況や依頼したい活動内容をまとめた資料を作成。サポーター活動の拡大に向けて周知活動を行った。

○サポーター受入登録施設 69施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設を登録している。

活動先を増やす為、サポーター受入未登録の施設にアプローチして登録施設を増やした。

○スキルアップ講習会

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーターが普段の活動の際に必要なスキルを身につけ、自身の介護予防に役立てながらサポーター活動を充実させることができた。

令和6年9月10日開催 参加者数38人

■ 実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪公立大学	4人	令和6年5月7日～5月10日のうち2日間	2日
大阪公立大学	5人	令和6年5月13日～5月17日のうち2日間	2日

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	1人	令和6年6月3日～7月3日	25日間
四天王寺大学	2人	令和6年11月11日～11月24日	9日間

・社会福祉相談援助演習特別授業

大学名	人数	内 容	場 所	派遣人数
四天王寺大学	36人	羽曳野市社会福祉協議会の事業と役割	四天王寺大学	2名

■ 在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保険施設との連絡調整等を行いました。

・新規介護相談件数・・・130件

・要介護認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕 (単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	24	33	11	5	4	77
内6年度新規	6	3	2	3	0	14

・要支援認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕 (単位：人)

	要支援1	要支援2	事業対象者	計
利用者数	15	16	2	33
内6年度新規	6	5	1	12

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) 57件 (生活保護法介護扶助) 1件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

ホームヘルプサービス利用状況 (年度末現在利用者数) (単位：人)

利用者数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい	総合計
介護保険	総合事業	0	10	5						21
	訪問介護			7	5	2	2	1		17
障がい	居宅介護								13	13
	重度訪問介護								0	0
合計		0	10	5	7	5	2	2	13	45

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

(単位：件)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	28	26	37	27	22	28	32	23	20	34	32	32	341

【斡旋】

紙オムツ・トレーニングパンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

・羽曳野市介護保険事業者連絡協議会との連携

総会	令和6年6月20日（木） 対面及びZOOMでの開催 令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画について提案 地域活動部会発足について提案
総会特別講演	令和6年6月20日（木） 『令和6年度報酬改定についての質疑応答』 羽曳野市保健福祉部 福祉指導監査課より
各部会	居宅部会 6回 在宅部会 5回 施設部会 4回 地域密着部会 6回 小規模多機能部会 4回
法人案内ホームページでの活用	通所早見表の作成及び更新

その他

若年性認知症「ケアニン」上演会や、医療と介護の連携研修会、フードパントリーへの協力等

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

総会	令和6年5月22日（水）15時～16時30分 羽曳野市保健センター 4階大会議室 ○研修会 ・「羽曳野市福祉指導監査課よりお知らせ」羽曳野市福祉指導監査課 ・「保険証の廃止とマイナ保険証の利用について」 羽曳野市社会福祉協議会 事務局長 舟本 美果
研修会	令和7年3月3日（月）13時30分～15時30分 羽曳野市保健センター 4階大会議室 ・「市町村域しあわせネットワーク活動支援 モデル事業報告会」 オンデマンド研修 ・意見交換会
役員会	令和6年9月19日、11月15日 令和7年1月16日、3月13日
法人案内ホームページでの活用	ホームページを活用した法人紹介

行政との連携及び要望	○羽曳野市福祉指導監査課 研修を通じて情報提供（５月２２日） ○羽曳野市保健福祉政策課 重層的支援体制整備事業について情報共有（１１月１５日） ○羽曳野市都市魅力部経済労働課 就労トライアルについて協力依頼を受ける（１１月１５日）
その他	○保育と福祉のお仕事 マッチングフェアに参加 令和６年７月２１日（日）１０時～１６時 LIC はびきの３階 視聴覚室・多目的スタジオ・小会議室 ○地域貢献委員会（施設連絡会）代表者会議 事務局として出席 令和６年９月１１日（水）１３時３０分～１６時 たかつガーデン アジサイ ・行政報告「地域共生社会の実現に向けて地域福祉の推進」 ・実践報告「四条畷市地域貢献委員会の取り組みと今後の発展について」 ・大阪しあわせネットワーク充実強化検討チーム 検討報告について ・グループワーク ○第１回羽曳野市地域福祉専門職ネットワーク交流会の参加 令和６年９月１２日（木）１４時～１６時 羽曳野市保健センター ４階大会議室 ・「複合多問題の事例」についてグループワーク ・名刺交換も含めた交流 ○第２回羽曳野市地域福祉専門職ネットワーク交流会の参加 令和７年２月１９日（水）１４時～１６時 陵南の森公民館 ２階研修室 ・講演「ふれあいネット雅びと重層的支援体制整備事業～誰ひとり取り残さない社会を創るために～」 ・グループワーク ○第４期羽曳野市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進員として出席 令和７年１月３１日（金）１４時～１６時 羽曳野市役所別館 ３階会議室

・介護者家族の会の育成と支援

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・支援を行っています。

日時	事業内容	場所	参加者
５月１６日（火）	役員会	ボランティアセンター	５名
６月２９日（水）	総会	羽曳野市役所 別館３階会議室	１２人
７月１８日（火）	つどい（茶話会）	西部事務所 あいあいハウス	１１人
７月１８日（火）	役員会	西部事務所 あいあいハウス	２人
９月１４日（木）	つどい（茶話会）	ボランティアセンター	９人
９月１４日（木）	役員会	ボランティアセンター	５人
１１月２日（木）	リフレッシュ事業	京都（北野天満宮 他）	２３人
１２月４日（月）	つどい（干支押し絵製作）	西部事務所 あいあいハウス	１２人

12月6日(水)	役員会	ボランティアセンター	5人
1月17日(水)	役員会	ボランティアセンター	5人
2月21日(水)	役員会	ボランティアセンター	5人
3月27日(水)	視察研修会	堺市総合防災センター	19人

■ 各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える活動資金運動に積極的に取り組みました。

【赤十字活動資金実績】

地 区 名	実 績 額	地 区 名	実 績 額
古市地区	530,100円	西浦地区	867,220円
高鷲地区	809,150円	丹比地区	175,900円
埴生地区	324,950円	羽曳が丘地区	647,920円
駒ヶ谷地区	331,000円	大阪支部扱い	1,049,320円
合 計			4,735,560円

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【募金会理事会】： 令和6年8月29日（市長会議室）

【街頭募金活動】： 令和6年10月7日 市内主要駅3か所と市内店舗6か所で実施。

【共同募金実績額】

戸別(町会)	法 人	学 校	街 頭	職 域	その他	バッジ	実績額
2,357,617円	75,542円	240,930円	125,761円	26,992円	102,467円	448,500円	3,377,809円

(町会別実績額)

地 区 名	実 績 額	地 区 名	実 績 額
古市地区	461,700円	丹比地区	113,950円
高鷲地区	579,457円	西浦地区	312,450円
埴生地区	317,260円	駒ヶ谷地区	136,700円
羽曳が丘地区	412,350円	事務局扱い	23,750円
合 計			2,357,617円

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地 区 名	実 績 額	地 区 名	実 績 額
古市地区	434,700円	丹比地区	159,650円
高鷲地区	544,960円	西浦地区	273,150円
埴生地区	367,610円	駒ヶ谷地区	122,800円
羽曳が丘地区	352,050円	事務局扱い	598,476円
合 計			2,853,396円

※ 「歳末たすけあい運動募金」の募金方法について、協議を重ね令和6年度から民生委員児童委員協議会による戸別訪問募金活動は終了しました。

民協会長、副会長会議 令和6年8月8日（ボランティアセンター会議室）

民協地区長会議 令和6年9月10日（羽曳野市役所 別館2階研修室）

※ 配分委員会 令和6年12月5日（羽曳野市役所 別館2階研修室）

配分内容

校区福祉委員会推進費、子育てサロン運営費、児童養護施設お年玉、サンタクロース訪問
(児童養護施設等に会長参加) 他

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

大阪府赤十字血液センターと連携を図り事業の活性化に努めました。

・啓発活動

市広報紙、社協だより及びホームページに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

羽曳野ライオンズクラブ、羽曳野ロータリークラブと共催開催を実施し多くの協力をいただきました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内及等において献血キャンペーン用のポケットティッシュ及び絆創膏を配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ml 採血	400ml 採血
955人	820人	42人	778人

・義援金救援金受付及び被災地支援活動

・義援金救援金の受付

令和6年能登半島地震災害義援金	令和7年3月末現在	2,120,533円
令和6年能登半島大雨災害義援金	令和7年3月末現在	517,640円
大船渡市赤崎町林野火災義演金	令和7年3月末現在	10,201円
2024年台湾東部沖地震救援金	令和7年3月末現在	29,580円
ウクライナ人道危機救援金	令和7年3月末現在	37,330円
(社協受付分 全額 日本赤十字社大阪府支部に送金)		

■ 職員研修会

・人権研修

新規採用職員及び、管理職員を対象にDVD などによる人権研修会及びハラスメント研修会を開催
市及び羽曳野市企業人権連絡会主催の研修会に参加

■ 保育園の運営

あおぞら保育園

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	139	139	139	140	140	137	137	140	140	140	140	140	1,672

※認可定員：120人

保育内容

入園、進級おめでとうの会・家庭訪問・検便(年1回)・検尿検査(年2回)・嘱託医による健康診断(年2回)
歯科検診(年1回)・園外保育(年8回)・親子ふれあいサロン(年2回)・懇談会(年2回)・個人懇談・げん
きフェスタ・にっこりガーデン・プール遊び・七夕まつり・すいか割り・サマーフェスタ・YuZu らんど・
防災教室・敬老の日の集い・クリーン活動・芋掘り味覚狩り・おもちつき・クリスマスパーティー・お正
月あそび・節分・交通安全教室・ハッピーフェスタ・お別れバス遠足・おもいで、ありがとうの会・卒園
おめでとうの会・食育ランチルーム・三園交流(古市幼稚園・誉田保育園)・ベビーハウス社協との交流(職
員・園児)・南大阪民間保育園連盟主催(大運動会・サッカー大会)・小学校中学校校庭あそび・図書館体験・
身体測定、避難訓練、お誕生日会(毎月1回)

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	52	63	54	46	35	58	58	61	51	47	57	54	636

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	32	43	39	43	31	39	37	37	40	39	46	31	157

特別教室の実施

- ・英会話教室(ECC)
- ・ダンス教室

※ 3歳児より導入

子育て支援事業

- ・育児相談(開園中常時)
- ・園庭開放(年11回)
- ・子育て支援自主事業
(年18回 地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う)

地域交流

- ・ひだまりスポット(園庭開放) 年 11 回
- ・にっこりガーデン 5 月
- ・サマーフェスタ 7 月
- ・すいか割り 7 月
- ・防災教室(地域の親子参加) 11 月
- ・おもちゃつき会(地域の親子参加) 12 月
- ・クリスマス会(地域の親子参加) 12 月
- ・お正月遊び(地域の親子参加) 1 月
- ・交通安全教室(地域の親子参加) 2 月
- ・園児の祖父農園(芋掘り) 10 月
- ・中川さんの農園(芋掘り) 10 月
- ・教育実習生受け入れ 8 月 1 人 2 月 1 人 計 2 人
- ・職業体験・ボランティア受け入れ 7 月 3 人 8 月 3 人 10 月 2 人 3 月 2 人 計 10 人

職員研修

- ・防火管理者講習 1 人 (4/23. 24)
- ・暑さ対策セミナー 8 人 (5/30 オンライン)
- ・保護者のおかれている環境を理解し共育てを 1 人 (6/7)
- ・救急蘇生DVDによる研修(全職員)(6 月)
- ・子どもの健口に大切なこと 1 人 (7/11)
- ・特定給食施設において災害時に備え等 1 人 (7/19)
- ・事故防止研修会 1 人 (7/22)
- ・主体性と意欲を育てる乳児保育 1 人(7/24)
- ・「なんだろう?」「どうする?」「やってみよう」でつながる保育 1 人 (7/25)
- ・「色」「形」「光」遊ぶ 2 人(7/30)
- ・子ども理解を深める保育アセスメント 2 人 (8/19)
- ・一人ひとりの障害を理解し適切な支援を学ぶ 1 人 (8/28)
- ・遊びを中心とした指導計画・記録・評価 1 人 (9/3)
- ・食品衛生講習会 1 人 (9/4)
- ・子どもの自尊と自立を育てるこれからの保育 1 人 (9/17)
- ・メンタルヘルス 1 人 (9/19)
- ・ジェンダーLGBT について 1 人 (9/24)
- ・「幼児期の教育と小学校教育の接続」にかかる研修会 1 人 (10/2)
- ・感染症等講習・演習 1 人 (10/3. 9. 23. 12/17)
- ・中堅キャリアパス 1 人 (10/8. 18. 22)
- ・保育士栄養士研修 1 人 (10/18 オンライン)
- ・リスクマネジメント 1 人 (10/23)
- ・性差の伝え方 1 人 (11/6)
- ・愛着と発達に課題のある親子への支援 1 人 (11/11)
- ・福祉BCP 図上訓練 1 人 (11/27)
- ・子ども虐待防止のため 25 人(11 月オンライン)
- ・乳児保育研修 2 人 (12/4. 5)
- ・保育士を元気にする 1 人 (12/6)
- ・幼保小の架け橋プログラム事業成果報告会 2 人 (2/10 オンライン)
- ・食中毒について 1 人(2/25)
- ・しあわせネットワーク 2 人 (3/3)
- ・スマイルサポーター報告会 1 人 (3/12)

- ・キャリアアップ研修(幼児保育) 4人(10月オンライン)
- ・キャリアアップ研修(障がい児保育) 1人(9月オンライン)
- ・キャリアアップ研修(食育アレルギー) 1人(6月オンライン)
1人(10/7.8.9)
- ・キャリアアップ研修(保健衛生) 2人(6月オンライン)
2人(8月オンライン)
1人(11月オンライン)
- ・キャリアアップ研修(子育て支援) 1人(7月オンライン)
1人(6/6.7/4.9/5.10/17.11/7)
- ・人権研修 34人(DVD)

ベビーハウス社協

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	120	122	122	122	122	123	124	126	127	127	127	127	1,489

※認可定員: 120人

保育内容

入園進級式、個人懇談(年2回)、幼児遠足(春・秋)、フリー参観(年2回)、

ECC(3歳児一年15回(10月～)、4・5歳児一年30回)、ダンス(3・4・5歳児一年30回)、四天王寺大学短期大学部保育科交流(2歳児)大運動(5歳児)、七夕、プール活動(3～5歳児)、スペシャルサマーデー(5歳児)、検便・尿検査(年1回)、内科検診(年2回)、歯科検診(年1回)、運動会(3～5歳児)、あおぞら保育園と交流(5歳児)、高鷲南幼稚園と交流(5歳児)、クッキー作り(3～5歳児)、クリスマス会、節分、お別れ遠足(5歳児)、ひなまつり、ゆめっこの会、卒園式

※毎月1回お誕生日会、避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長: 7時～7時半】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	42	53	47	50	40	35	62	48	49	53	55	63	597

【夕方の延長: 18時半～19時】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	23	20	18	30	24	23	30	31	31	26	34	36	326

一時保育

7時～20時

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野市内の園児数	185	167	200	219	174	174	209	195	227	207	211	210	2,378
他市町村の園児数	0	0	0	0	0	2	5	7	7	7	1	3	32

子育て支援事業

- ・園庭開放（ベビっこひろば）（年8回）
- ・子育てサロン（年8回）：たかなんサロンへの保育士派遣
- ・育児等相談

地域貢献支援事業

- ・物資の支援（2回）

地域交流

- ・IBU 四天王寺大学短期大学部保育科造形授業（2回生） 5/28
- ・高鷲南小学校2年生「まちたんけん学習」 10名 11/20
- ・高鷲南中学校1年生「地域学習」 4名 11/21
- ・教育実習生の受け入れ 計5名
 - 関西女子短期大学 保育科 2名 2年 7/29～8/8
 - 四天王寺短期大学保育部 保育科 1名 2年 8/26～9/5
 - 四天王寺短期大学保育部 保育科 1名 2年 9/5～9/17
 - 四天王寺短期大学保育部 保育科 1名 1年 2/3～5・2/17～25

職員研修

保育士研修

- ・危機管理危機対応研修 6名(4/19)・7名(4/23)・10名(4/26)・13名(5/10)
- ・キャリアアップ研修（乳児保育）（e ラーニング） 1名(5/7～・7/6)
 - 1名(5/13～・7/27)
 - 1名(5/8～・8/31)
 - 3名(7/16～8/30)
- ・キャリアアップ研修（幼児保育）（e ラーニング） 1名(5/8～・7/27)
- ・地域貢献支援員養成研修 1名(5/30・6/14・7/1・7/17・7/30・9/2・9/13・9/25)
- ・保護者支援・子育て支援連続講座 1名(6/6・7/4・9/5・10/17・11/7)
- ・健康と安全研修会 1名(6/7)
- ・救急蘇生DVDによる研修 全職員(6/10・13・14・15・17・18・22)
- ・感染症・食中毒予防対策講習会（動画視聴型） 3名(6/21)
- ・事故防止研修 1名(7/22)
- ・子ども理解を深める保育アセスメント 2名(8/19)
- ・保育事例研修会（男性保育士研修会） 1名(8/22)

・子どもがまんなかの保育	1 名 (9/30)
・キャリアアップ研修 (食育・アレルギー対応)	1 名 (10/7～9)
(食育・アレルギー対応) (e ラーニング)	2 名 (10/22～・11/7)
	1 名 (11/18～・1/26)
・「幼児期の教育と小学校教育の接続」にかかる研修会	1 名 (10/2)
・実地訓練から BCP を学び直す 施設・事業所を 守るための体験型研修	1 名 (10/25)
・保育園・こども園職員研修	2 名 (11/7)
・第2回集団指導者養成教室	1 名 (11/8)
・キャリアアップ研修 (保護者・子育て支援) (e ラーニング)	2 名 (11/11～12/27)
・キャリアアップ研修 (マネジメント) (e ラーニング)	1 名 (11/15～・12/8)
・子どもと豊かなコミュニケーションを築く ～インリアルアプローチ～	1 名 (12/18)
・子ども・大人どちらも主体的に～育ち合う力を尊重して～	2 名 (12/9)
・感染症・食中毒予防対策講習会 (動画視聴型)	21 名 (11/11～1/10)
・大阪府発達障がい児支援のための保育士・幼稚園 教諭研修 基礎講座 (オンデマンド形式)	1 名 (11/15～1/13)
・保育士研修会 (乳児保育)	1 名 (1/24)
・キャリアアップ研修 (障がい児保育)	1 名 (2/17・19・21)
・スマイルサポーターフォローアップ研修	1 名 (3/12)
・人権研修(DVD)	30 名(3/22・24・25)–